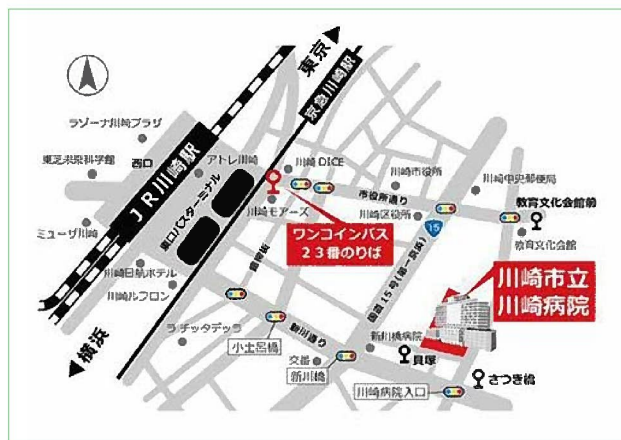


## 交通アクセス Access Guide



### ■ 最寄駅

JR川崎駅 東海道線にて東京駅から20分、品川駅から11分、横浜駅から8分

### ■ 市バス

川崎駅東口バス乗り場11/14/15/16番乗り場より約5分、「教育文化会館前」下車、徒歩5分

### ■ ワンコインバス

川崎駅東口モアーズ前23番乗り場より約8分、直通「川崎病院」行き、大人・小児とも100円、7時40分～18時運行（平日のみ）

### ■ 臨港バス

川崎駅東口バス乗り場1/2/5/7/8番乗り場より約5分、「さつき橋」下車、徒歩3分

### ■ タクシー

川崎駅東口より約5分

川崎 川崎病院  
Kawasaki Municipal Hospital

〒210-0013 川崎市川崎区新川通12-1  
TEL.044-233-5521 (代表)  
<http://www.city.kawasaki.jp/83/byoin/kawasaki/index.html>  
<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/index.html>

令和2年4月1日発行

  
KAWASAKI CITY



チームでつなぐ 地域の未来

川崎市立  
川崎病院

Kawasaki Municipal Hospital

地域医療支援病院／神奈川県がん診療連携指定病院  
日本医療機能評価機構認定病院  
卒後臨床研修評価機構認定病院

## 基本理念

私たちは、地域の基幹病院として、他の医療機関と連携し、「病気」でなく「病人」を診る心を大切に、安心安全で質の高い医療を、患者の皆さまとともに考え、実践し、健康と福祉の向上を通じて地域社会の発展に貢献することを目指します。

2016年1月

## 病院運営方針

基本理念を踏まえ、自治体病院の使命と役割を果たし、市民に信頼される安心安全で質の高い医療を継続的かつ効率的に提供していくために、次の方針を定めます。

- 1 患者さんの声を尊重し、高い倫理観をもって医療にあたります。
- 2 地域の基幹病院として、地域の医療ニーズに迅速かつ柔軟に対応できる、良質な急性期医療および専門性の高い医療を提供します。
- 3 救急医療、がん医療、周産期医療、災害時医療の充実を図ります。
- 4 地域の医療機関との連携を大切にします。
- 5 教育、研究を推進し、職員の知識、技術の向上と人材育成に努めます。
- 6 安全管理の向上に努めます。
- 7 健全な経営基盤の確立に努めます。
- 8 職場の経営意識の高揚を図るとともに、働きがいのある職場づくりに努めます。

## 院長挨拶

当院は、市の基幹病院として高度・特殊・急性期医療、救急医療を中心に、小児から成人・高齢者・妊産婦等の医療を提供するとともに、精神科救急医療の基幹病院としての機能も担うなど、地域医療水準の向上に寄与してまいりました。また、引き続き市立病院としての役割を担うため、高度脳神経治療センターや患者総合サポートセンターの設置、ロボット手術装置 da VinciやPET-CTの導入など、更なる高度な医療提供体制作りを進めてまいります。

今後訪れる未曾有の超高齢少子化が進む状況においても、的確にニーズに応えられる病院として運営するため、ハード整備に加え、直接傷病者に関わる医療職・病院職員の医療技術はもとより、その手のぬくもりや職業意識、知恵や工夫がますます重要になってまいります。先行き不透明な現代ですが、信頼される市立病院としての未来はどうあるべきか、職員と共に考えながら、歩みを進めてまいりたいと考えております。



第17代 病院長  
金井 歳雄

## 患者さんの権利

当院は、患者さんの医療にかかわる、次の権利を尊重します。

- 1 生命の尊厳と、人格を尊重した医療を受ける権利があります。
- 2 安全安心で室の高い医療を平等に受ける権利があります。
- 3 ご自身の病気や治療について知る権利を持ち、わかりやすく説明を受け、希望や意見を述べる権利があります。なお病名や予後について知りたくない場合は、そのお気持ちを尊重します。
- 4 ご自身が受ける医療を自らの医師で選択あるいは拒否する権利があります。
- 5 ご希望により、診療のいかなる段階においても他の医師および他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。
- 6 診療上の個人情報には厳重に保護され、その秘密は守られます。

## 診療科目

内科	肝臓内科	形成外科	耳鼻咽喉科
呼吸器内科	緩和ケア内科	血管外科	リハビリテーション科
循環器内科	外科	精神科	放射線診断科
消化器内科	呼吸器外科	リウマチ科	放射線治療科
糖尿病内科	心臓血管外科	小児科	病理診断科
内分泌内科	消化器外科	皮膚科	救急科
腎臓内科	乳腺外科	泌尿器科	麻酔科
神経内科	小児外科	産科	歯科
感染症内科	整形外科	婦人科	歯科口腔外科
新生児内科	脳神経外科	眼科	

## 施設

敷地面積	19,813㎡
建物面積	6,325.94㎡
延床面積	49,890.18㎡
構造	鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造
	地下1階地上15階建
竣工	平成12年(2000年)

## 病床数

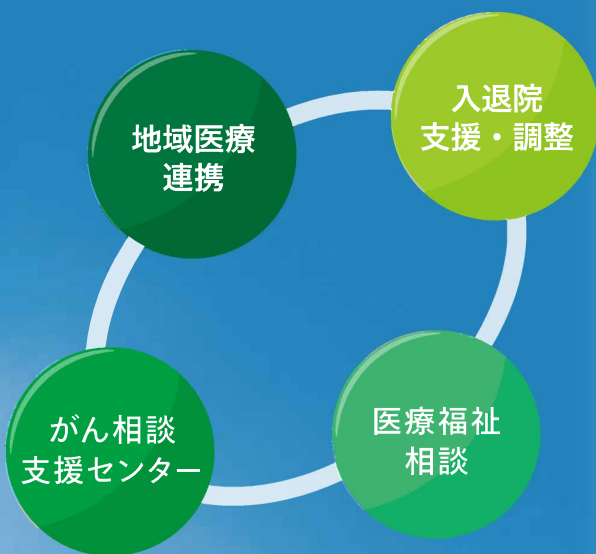
713床  
(一般:663床、精神:38床、感染:12床)

## 沿革

昭和11年12月	伝染病院として川崎市立病院開院	平成17年4月	病院局の設置 地方公営企業法の全部適用
昭和20年6月	総合病院となり「川崎市立川崎病院」と改称	平成18年1月	(財)日本医療機能評価機構の認定病院
昭和40年8月	救急病院指定	平成18年4月	救命救急センター開設
昭和43年7月	臨床研修病院指定	平成20年6月	市内救急医療派遣事業(Kawasaki ONE PIECE)開始
昭和53年9月	ICU開設	平成21年7月	川崎DMAT設置病院として指定
平成7年7月	新病院着工	平成22年4月	神奈川県地域周産期母子医療センターとして認定
平成10年3月	災害医療拠点病院指定	平成22年12月	卒後臨床研修評価機構認定病院
平成11年1月	NICU開設	平成23年3月	神奈川DMAT指定病院として指定
平成13年4月	新病院完成	平成28年3月	地域医療支援病院の名称承認
平成14年4月	精神科救急24時間体制の開始 川崎市南部小児急病センター開設	平成29年3月	神奈川県がん診療連携指定病院として指定
		平成31年4月	神奈川県難病医療支援病院として指定

患者総合サポートセンターは、地域医療連携、入退院支援・調整、医療福祉相談、がん相談支援センターで構成されています。

地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携強化、患者さんへの質の高いきめ細やかな支援を行う相談支援体制を整え、地域や社会の架け橋となれるように努めています。



### 地域医療連携



地域の医療機関からの外来診療の事前予約受付や緊急受診受付及び医療機器の共同利用受付などを行い、地域医療の連携強化に努めています。また、市民公開講座の開催や広報誌の発行を通して、市民や地域の医療機関向けに情報発信なども行っています。

### 入退院支援・調整



入院中の患者さんやご家族の思いに寄り添いながら、可能な限り住み慣れた地域でその人らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、多職種と協働し、退院支援や調整を行っています。また、入院前からの支援や外来通院中の患者さんの在宅療養支援も行っています。

### 医療福祉相談



病气やけがをきっかけに生じる生活上の問題について、医療ソーシャルワーカーが社会福祉の立場から相談に応じています。患者さんやご家族と一緒に考え、問題解決の支援を行っています。また、転院調整や施設入所の調整も行っています。

### がん相談支援センター



患者さんやご家族等に信頼できる情報提供を行うことで、その人らしい生活や治療選択ができるように相談支援を行っています。がんと診断されたときから、治療の副作用・仕事・療養生活のことなど、どのようなことでも相談を受付けています。

当院は平成29年(2017年)4月より、神奈川県がん診療連携指定病院の指定を受けています。引き続き川崎市南部二次保健医療圏の診療中核病院として、専門的ながん診療機能の充実を図るとともに、住民の皆さまにさらに安心かつ適切ながん医療を提供してまいります。

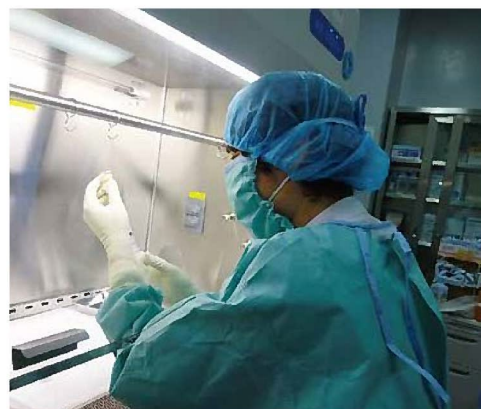
### ■ 内視鏡センター

当院は日本消化器内視鏡学会の指導施設に認定されており、各診療科の医師が横断的に連携し最良のがん診療を志しています。内視鏡センターでは消化器、呼吸器それぞれの分野でNBI・拡大観察、超音波内視鏡、ナビゲーションシステムなどを取り入れ、精度の高い内視鏡診断と治療を提供しています。消化管がんをはじめ、発見の難しい膵臓がんなどに対しても積極的な早期診断を行う体制を整えています。



### ■ ダ・ヴィンチ (da Vinci)

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ (da Vinci)」を用いた手術は、開腹手術に比べて出血量が圧倒的に少なく、低侵襲で術後の回復が早いのが特徴です。自由度の高い鉗子操作、鮮明な3D画像により、精細な手術が可能になりました。このことで、前立腺がん手術後の尿失禁に対して、早期回復に高い効果が認められています。



### ■ 外来治療センター

外来治療センターは、外来通院しながら、抗腫瘍薬や、生物学的製剤による治療を受ける患者さんが、安心して治療を受けられるように設置された施設です。快適に治療を受けられるように、リクライニングチェア、ベッドが用意されており、専任の看護師が治療中の患者さんの看護にあたります。看護師は治療に関するご相談にも対応しており、院内の「がん相談支援センター」とも連携をとっています。治療に使用する薬剤は、薬剤調整室で、薬剤師が無菌的に調整しています。



### ■ PET-CT

PET-CT検査は、 $^{18}\text{F}$ -FDG (フルデオキシグルコース) という検査薬を注射した後に撮影を行い、細胞の状態や動きをみる検査です。がんや心臓・脳の病気の診断に役立ちます。 $^{18}\text{F}$ -FDGは、放射性核種のフッ素 ( $^{18}\text{F}$ ) で標識された、ブドウ糖によく似た構造の薬剤です。がん細胞はブドウ糖の代謝が活発なため、正常な細胞の3~8倍ものブドウ糖を取り込みます。この性質を利用し、がん細胞が $^{18}\text{F}$ -FDGを取り込む様子を画像化することで、がんの有無や位置を調べることができます。

当院では、理念にある『安全・安心で質の高い医療』を提供できるようスタッフ一丸となり、チーム医療を実践しています。



### NST(栄養サポートチーム)

食事だけでなく、経管栄養、静脈栄養など総合的かつ専門的な栄養管理を目指し、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士、理学療法士など、多職種が連携して活動を行っています。



### 褥瘡対策チーム

毎週、皮膚科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士の多職種のメンバーで連携を図り、褥瘡の予防と治療・看護ケアを実施しています。



### DCT(認知症ケアチーム)

認知症の患者さんを対象に、症状の悪化を予防し、身体疾患の治療が円滑に受けられ、地域に繋ぐことを目指し、神経内科医・認知症看護認定看護師・老年看護専門看護師・精神保健福祉士などの多職種、メンバーで連携を図りながら毎週、病棟ラウンドを行っています。



### 感染対策チーム

実践的チームとして組織横断的に院内における集団発生および感染管理を迅速かつ機動的に活動することを目的に、感染対策チームを設置しています。



### RST(呼吸サポートチーム)

人工呼吸器を使用している患者さんを対象に、人工呼吸器からの早期離脱、早期離床、転院あるいは在宅への移行へ向けての支援を行っています。医師、看護師、理学療法士、臨床工学技士など多職種が連携して活動しています。



### 緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、患者さんやご家族の抱えるつらさを和らげ、QOL(クオリティ・オブ・ライフ=生活の質)を向上させることを目的としています。

# チーム医療



### ■ 救命救急センター

平成18年(2006年)4月、救命救急センターが設置されました。重篤な救急患者(3次救急患者)に対応する川崎南部地域の重要拠点となっています。年間1,200~1,500人の3次救急患者が救急搬送されてきます。1階にER(救急室)と9階に救命病棟(EICU 4床、HCU 16床)を配置し、「断らない救急」を目指し24時間体制で対応しております。

### ■ 救急告示病院

昭和40年(1965年)8月、救急病院(現在の救急告示病院)に指定されました。現在、年間6,000~7,000人の救急搬送患者に対応しております。

### ■ 小児急病センター

川崎市南部の小児急病センターとして、平成14年(2002年)に開設されました。現在、土・日・祝日および夜間に小児科医が初期診療を行っております。

### ■ 地域周産期母子医療センター

川崎病院では、新生児集中治療管理室(NICU)6床を運営しており、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる施設として、地域周産期母子医療センター(平成22年(2010年)4月認定)の役割を担っています。



### ■ 高度脳神経治療センター

急性期脳血管障害患者の治療の迅速化・合理化を図るために、平成29年(2017年)4月1日に高度脳神経治療センターを開設しました。脳血管障害(脳卒中)には、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血が含まれますが、高齢化社会に伴い、これらの疾患に対する急性期治療は、ますますその重要性が高まっています。当センターは、脳神経外科、神経内科、救急科などの複数の臨床科と密な連携を図り、迅速かつ正確な急性期脳卒中治療を提供します。

### ■ 精神科救急医療

神奈川県精神科基幹病院のひとつとして、4区市協調体制の精神科救急及び身体合併症を有する急性期の精神科患者の受け入れを行っています。医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士など多職種によるチームカンファレンスなどを行い、総合病院ならではの社会復帰への支援づくりに励んでいます。

### ■ 感染症指定医療機関

当院は川崎市内で唯一の第2種感染症指定医療機関です。第2種感染症とは?新型インフルエンザやSARSなど新興感染症の患者様を管理する特殊な病棟です。病床数は12床あり、一般の方とは全く違った入口やエレベーターを使用した専用病棟となっています。感染症内科医や感染対策の専門教育を受けた感染管理認定看護師とも協力しながら治療・看護にあたっています。近年では新型コロナウイルス陽性者の受け入れや治療を行いました。



## K その他の取組み Other initiatives

災害拠点病院として各種備蓄の準備やDMATチームの派遣を行っているほか、臨床研修指定病院として医師の教育・指導に取り組むと共に、院内コンサートやキッズセミナーなどを実施し、地域交流にも積極的に取り組んでいます。

### ■ 災害拠点病院

平成10年(1998年)3月、神奈川県災害医療拠点病院に指定されました。市内救急医療派遣チームをはじめ、DMAT(災害派遣医療チーム)を備えています。また、屋上にはヘリポートを完備し、災害時や多数傷病者発生時、災害協力病院の市立井田病院などと連携し、広域搬送の拠点として対応する体制づくりを行っています。



### ■ DMAT・ワンピース

川崎病院では、市内で発生した災害や事故等の現場に医師等の医療チームを派遣する「市内救急医療派遣事業(通称:Kawasaki ONE PIECE)」や、大規模な災害や事故等の現場に医師等の医療チームを派遣する川崎DMAT(災害派遣医療チーム:Disaster Medical Assistance Team)、さらに、神奈川県内外で発生した大規模な災害や事故等の現場に医師等の医療チームを派遣する神奈川DMATを有しています。国内で起きた災害において、神奈川DMATとして派遣され、現場で活動した実績もあります。



### ■ 臨床研修指定病院

川崎病院の研修制度の歴史は古く、昭和42年(1967年)にさかのぼることができます。現在は広く各科を研修するローテイト方式を採用しており、個別カリキュラムを組んで、限られた期間に充実した研修成果が上がるよう努めています。

技能の修得だけでなく「病気でなく『病人』を診る患者さん中心の医療」を理解し、実践できる医師の育成を目指します。院内講演会や各診療科のカンファレンス、CPCなど勉強する機会が多く、多数の指導医から数多くの診療科について指導を受けることができます。



### ■ 地域交流 コンサート・キッズセミナーなど

患者さんや地域の皆さまに向けてボランティアによる院内コンサート、健康を維持するためのコツや病気との取り組み方のコツをテーマに、わかりやすくするためになる市民公開講座の開催、地域の子もたちに模擬体験などをしてもらうことで、医療現場の魅力を知ってもらうキッズセミナーなどを実施しています。



## 医療支援部門 Medical support department

### ■ 看護部

「私たちは、患者さんとともに考える心のかよいう看護をします」を看護部理念とし、患者さんの思いを大切にケアしています。

また高い専門性を持った専門看護師、特定看護師、認定看護師が多く在籍し、看護部一丸となって確かな知識と技術で患者さんに安全で安心な看護を提供しています。



### ■ 薬剤部

「薬物療法が安全に実施されるための最後の砦となり、全ての患者さんを薬物事故から守る。」という理念のもと、調剤、注射薬払出し、抗がん剤調製、在庫管理等の業務を安全確実に行っています。また、医薬品情報業務や病棟への薬剤師配置も徐々に充実化を図っており、患者さんへの服薬指導、副作用モニタリングのほか、医師や看護師への情報提供、持参薬確認などを通じて薬物療法の有効性・安全性の向上に努めています。



### ■ 放射線科

放射線科ではX線撮影、CT、MRI、核医学・PET-CT、カテーテル治療IVR、放射線治療の部門があります。患者さんの安全を第一に、放射線科医師と診療放射線技師、看護師など多職種で連携し、チームで検査、診断、治療を行っています。



### ■ 検査科

検査科では、生理検査・病理検査・細菌検査・輸血検査・検体検査(ブランチ)を行っています。認定超音波検査技師(循環器、消化器、体表臓器)、血管診療技師、糖尿病療養指導士、細胞検査士、認定輸血検査技師などの多くの有資格者が、正確・迅速な臨床支援に携わっています。



### ■ リハビリテーション科

当科では、医師、PT、OT、STが専門性を活かしてチーム医療を行っています。患者さんがスムーズに自宅退院を果たせるように、また障害を軽減できるようにリハビリテーションを行っています。



### ■ MEセンター

呼吸療法業務、人工心臓業務、人工透析業務、心臓・カテーテル業務、ペースメーカー業務、ME機器保守点検業務、また手術室や内視鏡室業務など多岐にわたる業務を医師・看護師などの他職種の関係スタッフと連携しながら行っています。



### ■ 食養科

食養科では、9名の管理栄養士が患者さんの栄養管理、栄養指導を中心とした業務をしています。食事サービスでは、「治療の一環として安全でおいしい食事」の提供を心がけ、委託会社と共に入院患者さんへお届けしています。

